

小学生の部 入賞

大好きなお父さんへ

ぼくのお父さんは、ぼくが五才の時から家族とはなれて遠いところで働いています。お父さんが遠い土地でひとりでがんばって働いている間の、七年の間に百五センチだったぼくの身長も、五十センチも伸びました。お父さんが好きな野球も始めました。お父さんが帰ってくると、「大きくなったな。」と言っていっしょにキャッチボールをしてくださいました。けれどもこの一年半の間コロナのせいでなかなかお父さんに会えなくなりました。こんな時でも、お父さんは、遠い土地でひとりで家族のために働いてくれている。そして、ぼくたちが、元気に過ごしているかいつも心配してくれている。

はずかしくて、素直な気持ちを直接言葉で伝えるのが苦手なぼくだけど…ありがとう、お父さん。今度帰ってきたらまた、キャッチボールをしよう。

愛知県北名古屋市 小学6年生

つちやかなと
土屋 奏翔さん